

高野山大学大学院文学研究科修士論文提出の手續

(全体の流れ)

1年次	4月	「指導教員並びに研究テーマ届」を、指導教員による通覧を経て、提出する。
	5月～10月	指導教員の決定後、研究の計画を立て実行する。
	10月～2月	研究成果と計画変更の検討を行う。
	2月	「研究報告書」を、学務課教務係を経て指導教員へ提出する。
2年次	4月	修士論文の履修登録を行う。
	5月	「修士論文題目届」を、指導教員による通覧を経て、提出する。
	5月～10月	研究の計画を立て実行する。
	10月	「修士論文目次届」を、指導教員による通覧を経て、提出する。
	10月～1月	研究計画の実行および成果のまとめ。
	1月	「修士論文」を提出する。
	2月	「研究報告書」を、学務課教務係を経て指導教員へ提出する。 (修士論文未提出者のみ)

(説明)

I. 第1年次 指導教員並びに研究テーマ届

自身の研究したいテーマに沿って指導教員を決定し、指導教員の助言のもと、修士論文の研究テーマの設定を行う。毎年4月末（休日の場合は前日）までに学務課教務係に提出しなければならない。

II. 第2年次 修士論文題目届

指導教員の助言のもと、修士論文の研究テーマの設定を行い、毎年5月15日正午（休日の場合は翌日の正午）までに学務課教務係に提出しなければならない。適時指導教員より指導を受け、論文執筆に向けて準備を進める。

III. 第2年次 修士論文目次届

修士課程全体を通じての研究の主題・修士論文までの研究実績の関連性・研究の具体的計画をおったかたちで執筆する。実際にどのような論文を書こうとしているのか、どのように研究を進めるのか、その研究によりどのような点が明らかにされるのかが具体的にわかるよう、所定のフォーマットに基づき、明晰に記述しなければならない。毎年10月10日の正午（休日の場合は翌日の正午）までに学務課教務係に提出しなければならない。

IV. 第1・2年次 研究報告書

毎年2月末（休日の場合は前日）までに学務課教務係を経て指導教員に研究題目に基づく研究報告書を提出しなければならない。（ただし修士論文提出者を除く）。研究報告書は、修士論文の様式に準じ、修士課程は4000字程度を基準とする。（2部提出）

V. 論文

第2年次の1月10日正午（休日の場合は翌日の正午）までに、学務課教務係に提出すること。修士論文の体裁や提出方法等については「大学院に関する試験並びに試験実施規程」を参照すること。論文の未提出者及び不合格者は、翌年7月10日正午（休日の場合は翌日の正午）までに、改めて提出することができる。また、修業年限が変更になる場合は、学務課教務係で修業年限変更届を提出すること。

VI. 口述試問

主査と副査2名の合計3名により論文の審査および口述試問を行う。日程は掲示によって通知する。

備考

- ・この手続きの運用は、平成25年度以降入学の大学院生とする。
- ・通信教育課程については、別に定める。